

【第一三九回琉球舞踊公演】 創作舞踊の会 上演歌詞・楽曲シート

一、「若水」

〈真福地のはいちゃう節〉

心から姿 洗い清めとて 連理さる二人 一期ともて

〈鶴亀節〉

夫婦鶴そろて 空に舞い遊ぶ 寿は千歳 祝い込めて

〈中作田節〉

今日のほこらしやや 二人縁結で 夫婦鶴あやけ 子孫繁栄

二、「琴の調べ」

〈渡りぞう〉

〈瀧落し〉

〈地管攪〉

〈江戸管攪〉

〈伊集早作田節〉

琴の音もかすか 照る月の影も 澄みて吹く笛の 音もしほらしや

三、「八重山育ち」

〈八重山育ち〉

一、八重の潮路に囲まれて 緑の島々歌の島

鳩間中森走り登り 久葉の葉影で ヤレ 八重山育ち

二、月夜の浜の荒磯で 鳴くや千鳥の恋の歌 出船悲しやシヨンカネ

(※与那国シヨンカネ) 「波の花さわぎ 千鳥もむせび鳴く

与那国ぬ情 すべてが身の情」

情あふるる ヤレ 八重山育ち

三、星影暗き夜半時 恋の細道トゥバラーマ せつない思いに身を焦がす

(※トゥバラーマ) 「君と二人で通た小道 今じゃ茨が纏れて咲くよ」

可愛い美童 ヤレ 八重山育ち

四、歌で名高き大嶽で 見下す群下の島々は 黄金の稲穂ユサユサと

(※小浜節) 「粒美らさあていどう 御初上ぎる」

果報の島だよ ヤレ 八重山育ち

五、白雲たなびく於茂登岳 清き流れの宮良川 尽きぬ情けの花の島
歌と踊りの ヤレ 八重山育ち

四、「樽囃子」

〈笠之段〉

〈ハリヤマク〉

一、豊かなる御代の しるしあらはれて 雨露の恵み 時も違ん

(※囃子) 朝夕働ち 世果報願らな

二、十日越しの夜雨 柔々と給ぼれ 我すた若者や 仕事はまら

三、作る毛作や 満作によかて 黄金波立て あぶし枕

四、思た事叶て 世果報年迎けて 酒肴作て 弥勒御祝

五、弥勒世の御祝 打ち重ね重ね 打ち晴れて互げに 遊ぶ嬉しゃ

六、打ち囃す樽の 鳴り音のしゆらしや 遊び惚りしちよて な夜や明かさ

七、夜の明けて太陽や 上らはもよたしや 巳午時までや 御祝しやべら

五、「ふやかにて」

〈百名節〉

- 一、取り掲ぎす燈火 肝探て行きゆる 昔手枕の 忘れぐりさ
- 二、里前志情や 夜々毎に留めて 袖に匂残り 我肝やむさ

〈アカキナ節〉（※箏と笛）

〈下出し 仲風節〉

結ばらぬ 片糸の あはぬ恨みとて 積もる月日

六、「百かりゆし」

天の太陽うけて 木の根地に深く 緑葉や千枝 百のかれよし

七、「御祝笠」

〈しほらい節〉

首里天ぎやなし 奉公さめとめば 旅のつれなさも 伽どなゆる

〈揚作田節〉

- 一、笠に音ないらぬ 降ゆる春雨や 野山たちかくす 霞ともて
- 二、笠に音立てて 降たる夏雨も 今や打ち晴れて 太陽ど照よる

〈江佐節〉

みやだいら事すまち 嬉し事菊の 花の咲く頃に 誇ていもうれ

八、「宮城くわでいさ」

〈宮城クワディサー節〉

春や花盛り 深山鶯の 匂忍でほける 声のしゆらしや

〈伊集早作田節〉

蘭の匂心 朝夕思とまり 何時までん人の 飽かん如に

九、「三面踊り」

〈ハリヤマク〉

一、ハリクヤマク知らんしや知らんしや 寄てい来うかん来う我ん習さ
寄てい来うかん来う我ん習さ ハリクヤマク クーヤマク
腰小よーたみていユイユイ

二、余所から習ゆる我ねあらん我ねあらん 遊びに惚りていどう我ね来やし
踊りに惚れていどう我ね来やし ハリクヤマク クーヤマク
近くなりへい思い語らな

三、ハリクヤマクに手入ってい足入ってい 踊ゆるアン小美らむぬや
舞ゆるアン小美らむぬや ハリクヤマク クーヤマク
腰小よーたみていユイユイ

〈早嘉手久節〉

嘉手久思なびが 綾ふじよぬ煙草 ちきていうさぎらば 吹ちやいたぼり

〈唐船ドリー〉

一、唐船ドリーさんてまん 一散走えならんしや 若狭町村ぬ 瀬名波ぬタンメー

二、遊びかいやしガ 手巾まに置ちえガ 仲前入口に さぎてい置ちえさ

三、首里に豊まりる 大村御殿ぬ平松 那覇に豊まりる 久茂地ぬホーイがじまる木

四、泊高橋に 銀ジーファ落ち 何時か夜ぬ明きてい とうめていさすら

五、かりゆしぶ遊び 打ち晴りていからや 夜ぬ明けてい太陽ぬ 上がるまでいん

十、「あや愛しや」

〈いつけーま節〉

- 一、木綿花作て 木綿かせかけて 布美らく織やり 里前御衣よ
- 二、千鳥浜立ちの 岸の浦の木綿 吹きば飛ぶびけり しちよて待ちゆさ

〈布晒節〉

- 一、布美らさ拝で 綾美らさ拝で
- 二、潮水もかけて 清水もかけて
- 三、くり返し返し 手並みしち見れば
- 四、干し晒しさらし 上げてすでら

〈さらし節〉

- 一、今日ぬゆかる日に まさる日に 思だなす事ん 叶し給り
- 二、若夏がなりば 御用布ん上げてい 心待ち里前 真肌吸ゆさ
- 三、うるずんぬ花やりやど 落ていていまた咲ちやる
我がけーらぬ花ぬ またん咲ちゆみ
- 四、綾ざりぬ美しやや あや美しやどう
布ざりぬ美しやや あや美しやどう ハイヤーヨ